



広

創立135周年

い



学校便り 18号

令和3年 10月21日

宮古島市立 狩俣小学校

発行者：校長 松原 伸一

「うわあ〜すごい!!」「魚がいっぱい!!」

〜追い込み漁見学・魚さばき体験・漁師さんへのインタビュー(5,6年生)〜

10月20日(水)に友利組の漁師の皆さんの協力をいただき、5,6年生が追い込み漁見学をしました。午前8時に狩俣漁港に集合して出発式を行った後、見学するための船に乗り込みました。追い込み漁の船2艘の後を追って、子どもたちを乗せた船はグングン進み、大神島の近くまで来ました。そこで、網が下ろされ、漁師の皆さんが次々に海へと入って行きました。

「あっ、網をおろしているよ。」「ほらほら、もぐってる。」様子を見ていた子ども達の声。船の上からのかけ声と合図があり、漁師さん達が岩に網をかけたり、はずしたりしていきます。漁師さんの泳いでいる姿を見て、「速いなあ、あつという間にあそこまで行ってるよ。」と驚きの声も。

網を下ろしてから約1時間半経った頃、追い込んだ魚が入った網を引き上げる瞬間がやってきました。子どもたちの目は漁師さんが引き上げる様子に釘付けです。

『うわあ〜すごい!!』『魚がたくさんだ!!』大きな歓声があがりました。『大漁だ〜!!』みんな大喜びでした。『漁師の皆さん、かっこいいなあ。』そんな声が聞こえてきました。



狩俣漁港での水揚げには、幼稚園生から4年生まで全員が参加しました。おろされた魚の量に「うわあ〜」と目を丸くして驚き、歓声を上げる子どもたち。色とりどりの魚を見て、思わず手を伸ばす子も……。

5,6年生は、漁師さんに教えてもらいながら、魚のうろこや内臓をとる体験も行いました。



さらに、漁師さん達へのインタビューを行いました。「漁師さんにとって狩俣の海はどんな存在か?」「海のどんなところに魅力を感じるか?」「狩俣の未来に期待することは?」など漁師さん一人一人の思いや願いを探っていくことをねらいとして、子どもたちも漁師さんも真剣な表情で聴き、話していました。子どもたちの質問に、「う〜ん」と黙って考え込む場面も。それでも丁寧に答えてくださる漁師さん達。



漁師さん達の思いや願いを知り、またひとつ私たちの住む「狩俣」について深く考えることができました。友利組の網元：友利哲雄さん、漁師の皆さん、見学用として船を出していただいた根間さん、子どもたちの深い学びに繋がるご協力、本当にありがとうございました。